



令和5年度 こども会議報告会資料
第3グループテーマ：校則や制服について

《グループメンバー》



岩垂誇子

中学 1 年生

流山市を子供も
納得する地域にし
たいから。



橋本有純

中学 2 年生

このような話し合
いに興味があった
から。



青木多佳良

高校3年生

参加することで流
山で過ごす子供た
ちの環境が良くな
れればと思ったから。



伊藤なごみ

中学 2 年生

大人に頼らず、自
分たちで流山をよ
りよくしたいから。



柏原聡太

小学5年生

校則を改正した
かったから。

グループで考えた流山市の現状（取組）

- ・学校によって違いがありすぎる
- ・話し合う機会が少ない
- ・意見が通りづらい（生徒総会など）
- ・なくてもよい校則とあったほうがよい校則がある



《流山市の現状に対する課題》

- ・個性がなくなっていく
- ・自律できなくなる
- ・勉強のモチベーションが下がる
- ・校則によってはお金がかかる



《グループから提案したい具体的な解決策》

～校則自由化に向けたテスト～

- ・お試し期間として校則をなくしてみる
 - 実施する前と後で生徒の様子を比較して校則の見直しをする
- ・校則を自由化した後に成績にかかわらないミニテストを行う
 - 校則によって学力が低下しないことを証明する

対象	中学生・小学生
教科	総合（全教科がまざったもの）
時間	中学生→50分
	小学生→45分
実施日	期間前6月
	期間後7月

テスト後にアンケート（生徒の意見を得る）



《ほかの地域の取り組み》

岐阜県立岐山高校

岐山高校では昨年6月に3週間校則を撤廃。
その後、生徒たちに校則について考えてもらう場を設けた。

玉野市立荘内中学校（岡山県）

荘内中学校では、校則を定める権限を生徒会が所持。
これまでの校則を撤廃し、生徒たちが考えた「生徒会心得」が作られた。

《生徒指導提要》

校則には具体的な例として

- ・校則の見直しを検討するとき、生徒の意見を聞く機会を設けること。

- ・児童会、生徒会等の場で校則について確認したり議論したり、する機会を設けること。

などが載っています。

《課題解決に向けて自分たちができること》

- 先生に訴える
(署名運動をして同じ意見の人を集める)
- 学級会の議題にする



《私たちからのメッセージ》

私たちも、この経験をもとに
校則の自由化に向けて行
動していくので、
ぜひ、協力お願いします



ご清聴
ありがとうございました

